

授業科目名： 初等教科教育法（外国語）	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 宇佐美 みどり 担当形態： 単独
実務内容 （実務家教員の場合）	小学校教諭として勤務経験をもつ教員が、外国科における指導内容や指導方法について指導する。		
科 目	教科及び教科の指導法に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。） ・外国語		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 小学校における外国語活動（中学年）・外国語（高学年）の学習・指導・評価に関する基本的な知識・指導技術を身に付ける。			
授業の概要 ・小学校外国語教育に係る背景や経緯等について理解する。 ・外国語活動と外国語科の目標等の違いについて理解する。 ・児童期の第二言語習得の特徴について理解する。 ・実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。			
授業計画 第1回：小学校外国語教育の変遷 第2回：小学校学習指導要領外国語の理解（小学校外国語活動・小学校外国語の目標等） 第3回：小・中・高等学校の接続と連携 第4回：少人数指導や児童の多様性に応じた指導の在り方（TT, ICTの活用） 第5回：第二言語習得の理解 第6回：言語材料の取り扱いとコミュニケーション活動 第7回：他教科との連携と活用 第8回：「聞くこと・話すこと（やりとり・発表）」の指導の在り方と情報機器の活用 第9回：「読むこと・書くこと」の指導の在り方と情報機器の活用 第10回：学習状況の評価と評価の方法（パフォーマンス評価。形成的評価） 第11回：学習指導案の作成①（あいさつ、Oral Introduction） 第12回：学習指導案の作成②（コミュニケーション活動） 第13回：学習指導案の作成③（評価の内容と方法） 第14回：学習指導案の作成④（教師の積極的英語使用） 第15回：初等教科教育法（英語）のまとめ（学習指導案の見直しと修正 他） 科目修得試験			
スクーリングでの学修 スクーリングではすべての内容について包括的に取り上げる			
テキスト 文部科学省「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編」 https://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/micro_detail/_icsFiles/afieldfile/2019/03/18/1387017_011.pdf 「Here We Go !」⑤⑥（光村図書）			
参考書・参考資料等 (1) 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編 (2) 高等学校学習指導要領（平成30年告示）			
学生に対する評価 スクーリング評価（25%）、レポート評価（25%）、科目修得試験（50%）			